

大島管内の遺伝資源の収集・評価・保存

【研究概要】

大島の主要品目であるブバルディア等の遺伝・育種資源の収集・保存・評価を行い、優良系統の育成種の試験研究を行う。

- (1) 昨年度二次選抜した第4期候補2系統の現地試験栽培を開始した。1年目となる今年度は、生産者の試験圃場に定植した2系統の栽培状況の確認を現地検討会で行った。今後は収量性や日持ちに関するデータを重点的に収集する。
- (2) ブバルディア新品種の開花特性およびウイルスフリー苗の実用性評価では、a)第1期3品種の秋期の開花については、培養由来の株と非培養由来の株で収量性および形態的特性は同等と考えられる。また、秋期のシェード期間は「シルキーホワイト、パールピンク」で7日、「クリアピンク」で7～10日が適すると示唆された。b)第2期3品種の冬期の最低気温4℃条件の栽培では、母株およびシェード期間の違いにより開花率、奇形花率に差はなく、採花本数は同程度である。ただし、開花率の低下や切り花長の減少が発生し、収量、品質が低下する。c)第2期3品種の春期の培養苗は非培養苗と比べて奇形花率に差はなく、採花本数は概ね同程度だが、「恋桜」では切り花長が短くなることが示唆された。また、春期のシェード期間は「サニーレッド」では28日、「スノーピンク、恋桜」では21日が適すると考えられる。